



# 学校だより

夏休み号(第 512 号)

平成 30 年 7 月 20 日  
横浜市立すみれが丘小学校

## 学校教育目標

〈 みんな友だち すすんで学ぶ元気な子 〉

豊かな人間関係の中で、自分らしさを大切にして主体的に学ぶことができるようにします。

## 課題にチャレンジして学び、成長しつづけるすみれっ子

校長 吉田 茂樹

今年は、例年以上に猛暑が続いていますが、4年生は、7月12日～13日に厚木七沢宿泊体験学習に元気に行ってきました。藍染め、機織り、ミサンガ作りの伝統工芸体験やアドベンチャーツアー、キャンドルファイヤー、木星などの天体観測、宮ヶ瀬ダムの放流見学など様々な体験ができました。ここでは、アドベンチャーツアーで感じたことをご紹介します。このツアーは、宿泊場所の七沢自然ふれあいセンターの広くて自然豊かな敷地を利用したものです。活動班で力を合わせて6つの各エリアの課題をクリアし、暗号文を解いてゴールするという内容です。



私は、「パイプライン」という課題を担当しました。30cmほどの半分に切った雨樋（パイプ）を各自1本ずつ持ってつなげ、ボールを落とさないように10m先のゴール（洗面器）に運ぶゲームです。途中でボールを落とすとスタートからやり直しで制限時間は、5分間です。ボールは、大きさや重さの違うもの（ピンポン玉、ゴルフボール、ビー玉）から自由に選べるようにしてあります。途中で変えても構いません。

子どもたちは、ボール選びから考え合います。「ビー玉が速く転がるからいいと思う。」

「速く進むとつなぐのが間に合わないから、ピンポン玉にしようよ。」「ゴルフボールの方が、重くて落ちにくいんじゃない。」「いや、でこぼこが引っかかるかも。」やってみると見た目よりもずっと難しく、最初は、数mで失敗します。何度も失敗を繰り返す中で活動班に変化が現れます。リーダーシップを発揮して班全体に作戦を伝えたり、励ましたりする子、縁の下の力持ちでボールを上手にコントロールする子、ミスしてしまった友達に「ドンマイ」と優しく声掛けをする子など、だんだんチームワークが生まれてくるのです。

ボールの選択、パイプのつなぎ方の工夫、ボールを転がす速度の調整などどんどん改善されていきます。最初は、難しいかなと思っていたゴールを達成した班も多く出ました。ゴールまであと一步の班もありました。

私は、珍プレー、好プレーに大笑いしたり、感心したりしながら、課題をクリアできたかどうかにかかわらず、子どもたちのチームワーク、粘り強さ、優しさ、知恵に感動をもらいました。課題を乗り越えようとするとき、子どもたちは、すごい力を発揮して成長するのだなと改めて感じたひと時でした。

いよいよ夏休みが始まります。朝会でも話をしていますが、交通事故や水難事故、不審者、熱中症など安全に十分気を付けて元気に過ごしてほしいと願っています。また、牛久保町内会納涼盆踊り大会、すみれ夏祭りなど地域行事もあります。是非、夏休みにしかできない体験をたくさんして、ひと回り成長したすみれっ子になってほしいと思います。